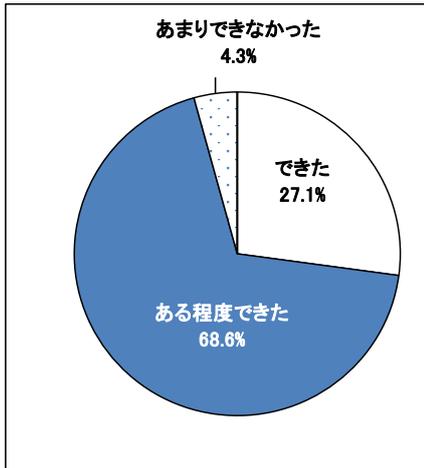


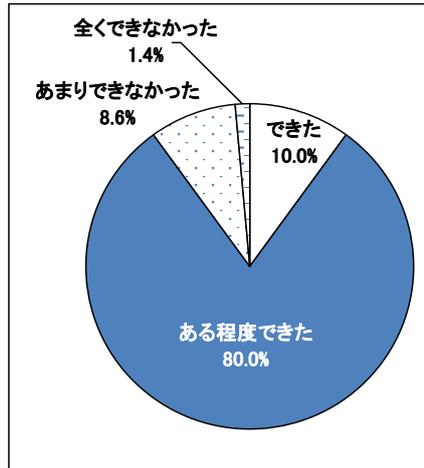
2 参加要員アンケート結果（災害対策本部運営訓練）

【要員アンケート結果】アンケート回答者70人（愛媛県58人、伊方町7人、大分県1人、四国電力4人）

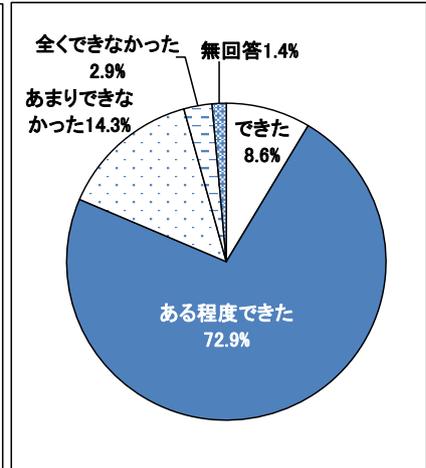
Q1 今回の訓練の想定や目的等を理解し、訓練参加できましたか。



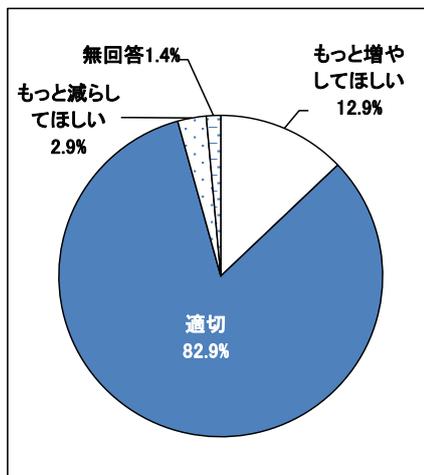
Q2 自らの役割を果たすことができましたか。



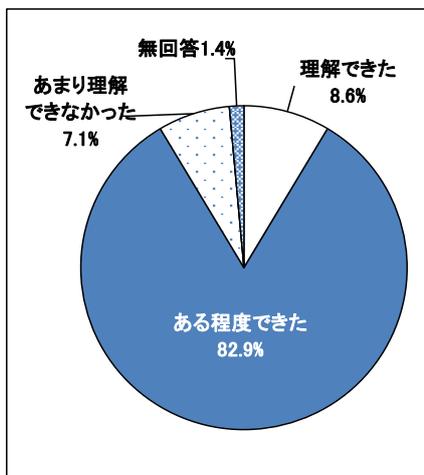
Q3 訓練参加機関との連携はできましたか。



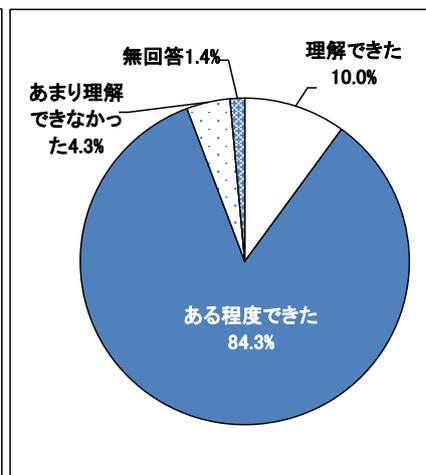
Q4 今回の訓練における役割、分担についてはどうでしたか。



Q5 原子力災害時における住民避難の対応等について理解が進みましたか。



Q6 原子力災害時における災害対策本部の対応等について理解が進みましたか。



【参加要員からの主な意見】

- ・原子力防災システム(NISS)の台数は増やしたほうが良い。
- ・10条通報など大きな動きがある場合は本部内にマイク等で一斉に情報共有した方がいいのではないか。
- ・今年度は原子力防災訓練が縮小となり、避難者の情報連携など実務的な訓練が実施できなかったため、本訓練においてそれらを確認できたことはよかった。
- ・災害を想定しての訓練は、毎年、担当者が変わり得ることから必要不可欠。

3 参加要員アンケート結果（ドローン運用訓練）

【参加要員からの主な意見】

《愛媛県》

- ・運用要領及びマニュアルについて、引き続き、分かりやすく改良することを期待する。
- ・映像の編集などの分析作業(高精細映像の活用等)についても訓練として実施してほしい。
- ・繰り返し訓練を実施して、習熟を図ることが重要。

《ドローン配備拠点(伊方町役場、瀬戸支所、三崎支所、町見出張所、八幡浜消防第一分署)》

- ・スムーズに訓練できた。
- ・他の拠点の訓練についても視察してほしい。